

でもこれらと同じような uptake を示すものもあり、脳 scintigram のみからでは鑑別診断が困難な場合もあった。しかし、まず脳血管写の結果を分析し、脳血管写上からこの両者のいずれかが疑われた症例にしばって検討すると、脳 scintigram にて glioblastoma では 73.9%、meningioma では 75.0% の診断率をえた。従って、脳血管写のみでは鑑別困難な場合には、脳 scintigram は、両者の鑑別診断上大いに役立つものと考えられた。

*

12. 髄液鼻漏症例における RI-cisternography の意義

石光 宏 鈴木 健二 中山 博雄
松本 皓 西本 詮
(岡山大学 脳神経外科)

8例の髄液鼻漏患者に RI-cisternography を行ない、髄液漏出の存在部位および髄液循環動態について検討を加えた。6例に $^{169}\text{Yb-DTPA}$ 、2例に $^{131}\text{IRISA}$ を用いた。髄液漏出部位の判明したものは、Yb で 4例、RISA で 1例であった。脳室内への RI の逆流、すなわち髄液吸収障害が認められたものは、Yb で 4例、RISA で 1例であった。それらのうちで、とくに著明な Yb の脳室内への逆流を認めた 1例に、瘦孔閉塞術後、意識障害、精神障害、尿失禁が認められた。本症は、髄液鼻漏と normal pressure hydrocephalus が合併したものと考えられ、Yb-cisternography の所見から、脳室腹腔吻合術の必要性が前もって予測された症例である。

以上のように、RI-cisternography は、髄液の漏出部位を診断するのみならず、髄液循環動態をも観察することができ、術後の病態把握の上で、他の検査法では成し難い利点を有する有用な方法であると考えられる。

*

13. 甲状腺機能検査の検討 (T_3 値の臨床的価値について)

佐光 正一 三浦 孝文
(高知市民病院 放射線科)
森本 和夫
(同 臨床検査)

140例の甲状腺機能検査について検討した。Hyperthyroid における、 T_3 値と血清コレステロール値との間に相関関係は認められなかった。基礎代謝率と T_3 値の相関係数は 0.6 であり、高い相関関係を示した。

Euthyroid では 86% が、基礎代謝率 $\pm 15\%$ 以内であった。

^{131}I 摂取率では Hyperthyroid で 40% 以下を示す症例中、3時間後値と 24時間後値との逆転は 7例中 2例で、ヨード制限不良時の検査でも、3時間値と 24時間値との逆転は必ずしも起らなかったことを示した。

T_3 値と T_4 値より T_7 値をみると、Hyperthyroid では、 T_7 値 35% 以下の症例 4例は、 T_7 値では 2例が正常域に残り、 T_4 値では 8例の正常値が 2例を正常域に残すのみとなった。機能正常例は T_7 値では全例正常域に含まれた。

質問： 児玉 求 (広大 第 2 外科)

甲状腺機能亢進症における T_7 値は、病態をよく反映するのでしょうか。甲状腺機能亢進症でも T_7 値で示すと正常域に近いものがみられますが。

答： 佐光 正一 (高知市民病院 放射線科)

13の質問に対しては確認だけの物だそうです。

質問： 鷺海 良彦 (広島日赤病院 放射線科)

甲状腺機能は、Free thyroxin をみるのが、最も妥当であり、その意味からいって Free thyroxin と最も相関関係の深い T_7 Value で判定するのがよいと思う。

答： 佐光 正一 (高知市民病院 放射線科)

(T_7 のみと T_3 値 T_4 値両別から Hyperthyroid の診断にはどちらが有効かの質問に対して.)

T_7 値のみの方が有利であります。

*